

資 料

新 着 資 料 の 紹 介

資 料 室

1) ソ連科学アカデミー地質学・地球物理学・地球化学部会編(1974):「Каолины (カオリン)」, ナウカ出版所, モスクワ, 191p., 21.5×14.5 cm (露文), UDC: 553.612

目 次

- В. А. Ярмолюк: 窯業原料資源に対する地質調査研究課題について p. 7- 9
- В. П. Петров: カオリンの生成条件とその性質 (表 1, 参 8) p. 10- 19
- В. И. Финько ほか: 沿海州の初成カオリン (図 6, 表 2, 参 4) p. 20- 29
- В. С. Васильев: シベリア中部のカオリナイト質粘土の生成・濃集規則性 (図 3, 表 6, 参 3) p. 29- 47
- В. А. Файзуллин: コクचेタフ地塊におけるカオリン質風化殻分布の特徴 (図 1) p. 47- 50
- А. И. Наумов: Алексе́ев КАОРИН鉱床の地質構成の特徴 (図 1, 表 1) p. 50- 58
- А. И. Евсеев ほか: МГОЖА́Р地区——新しい高品質カオリン資源産地 (図 2) p. 59- 61
- А. П. Степанов ほか: УРА́Л地方О́РЕНБУ́РГ地域のカオリン (参 4) p. 61- 66
- К. Г. Дубяга ほか: У́КРАИ́НА КАОРИ́Н鉱床生成区 (図 1, 表 1, 参 6) p. 66- 79
- Г. А. Иванченко: ДУ́БРО́ФСКИЙ А́ЛКА́РИ КАОРИ́Н鉱床 (図 1, 表 2, 参 2) p. 79- 83
- А. П. Афанасьев ほか: БА́ЛТИ́К楯状地東部のカオリン鉱床探査の展望 (参 10) p. 84- 87
- С. С. Чекин ほか: КАОРИ́Н質風化殻中の長石と白雲母の変質の諸特徴 (図 12, 参 8) p. 88- 95
- Ю. А. Русько: У́КРАИ́НА楯状地風化殻岩石中のカオリナイトの構造と形態 (図 5, 参 9) p. 95-106
- Е. Г. Куковский: КАОРИ́Нの品質評価に当たってのカオリナイトの構造特性 (図 1, 参 3) p. 107-111
- В. А. Дриц ほか: 混合層型カオリナイト-モンモリロナイト鉱物の回折特性 (図 5, 参 8) p. 112-125
- В. Т. Погребной: У́КРАИ́НА楯状地花崗岩類のカオリン質風化殻形成時における珪酸のバランスとペリカナイト化作用 (表 2, 参 5) p. 125-130
- М. С. Комская ほか: 初成カオリン富化度の評価 (図 2, 表 3) p. 131-135
- Л. В. Швец ほか: Алексе́ев鉱床産カオリンの化学的漂白作用能力について (図 7, 表 1, 参 5) p. 136-142
- Г. П. Васянов ほか: 工業用カオリンの物質組成と工学的性質の比較問題によせて (図 4, 表 2, 参 5) p. 142-148
- П. Я. Токарев ほか: ПРО́ШЯНОВ鉱床・ГЛУ́ХОУЕ́Т産カオリン中の鉱物混在物分布の特徴 (図 6, 表 2) p. 148-153
- В. Л. Половинкин ほか: 製紙工業でのカオリン使用の展望について p. 154-157
- Д. А. Данилова ほか: 紙の色に対するカオリンの影響 (図 3, 表 2, 参 6) p. 158-163
- В. С. Семенов ほか: КАОРИ́Н精製尾鉱の石英の利用 (表 6) p. 164-167
- Л. М. Гроховский: КАОРИ́Н鉱床の工業的評価の特徴について p. 168-175
- И. Л. Шаманский ほか: ソ連のカオリン資源の地質学的・経済学的特徴, 鉱量の現在と将来 p. 176-179
- В. Ф. Горбачев ほか: ソ連のカオリン工業の原料産地の状態と地質調査・探査の主な方向 p. 179-184
- 2) С. Р. Месчан (1974): 「Механические свойства грунтов и лабораторные методы их определения (地盤の力学的性質とその室内決定法)」, Недра出版所, モスクワ, 191p., 図145, 表23, 参72, 22×15 cm (露文), UDC: 624.131

目次

第1章 一元圧縮

- 1 一般概念
- 2 実験装置
- 3 試料の調整と実験法に関する基本
- 4 加圧装置の検定
- 5 一元圧縮による地盤試料の実験順序, 圧縮係数の決定と一元圧縮の総変形係数の決定
- 6 地盤の陥没度とその決定法
- 7 標準圧密法による地盤の最適密度・最適含水率の測定
- 8 粘土質含水飽和地盤の漸動測定法
- 9 瞬間変形と瞬間変形係数の測定法
- 10 圧縮漸動変形規則性の決定法, 相対圧縮漸動変形—時間曲線と相対圧縮漸動変形—破断曲線の記載
- 11 老化・圧密・継承漸動理論検討法
- 12 粘土質地盤の漸動特性の実用的測定法
- 13 熱漸動
- 14 振動漸動
- 15 膨潤圧測定法

第2章 単純転位

- 1 概説
- 2 単純転位条件下での地盤試料実験装置
- 3 一平面切断装置
- 4 ベベリング・振り装置
- 5 地盤転位抵抗測定法概説
- 6 最終圧密条件下での砂質地盤・粘土質地盤の転位抵抗室内測定法
- 7 圧密-非排水法と非圧密-非排水法による地盤転位抵抗の測定
- 8 未了圧密条件下での粘土質地盤転位抵抗室内測定法
- 9 自然傾斜角による崩壊質地盤内部摩擦角の決定
- 10 粘土質地盤の長期抵抗とその測定法
- 11 単純転位時の粘土質地盤漸動の実験法概説
- 12 単純転位時の粘土質地盤の時間的変形規則性の記録型式
- 13 単純転位の瞬間変形規則性測定法
- 14 単純転位の漸動変形規則性の測定
- 15 転位時の熱漸動
- 16 孔隙水の過圧測定法と測定機器

3) 全ソ地質研究所 (1975): 「Проблемы геохимии (地球化学の諸問題)」, 全ソ地質研究所報告 (レニングラード), 新シリーズ, 第241巻, 181p., 27×18 cm (露文), UDC: 550.4 : 061.3

目次

- | | |
|--|-----------|
| A. A. Смыслов: 地化学期, 地化学区とそのメタロジェニー特性 (図3, 表3, 参26) | p. 5- 18 |
| B. A. Рудник <i>et al.</i> : マグマ活動の岩石化学的進化方向 (図8, 参68) | p. 19- 43 |
| И. И. Абрамович <i>et al.</i> : ソジウム系列花崗岩類コンプレックスの岩石化学的特殊化の性質 (図5, 表3) | p. 44- 53 |
| Ю. В. Казицын: 交代作用と鉍石構成物質の地球化学的歴史 (表1, 参10) | p. 54- 61 |
| Е. В. Плюшев <i>et al.</i> : 鉍化作用の地球化学的様式 (図3, 参22) | p. 61- 72 |
| Л. К. Левский: 造構造-マグマ活動活化帯での同位元素の挙動 | p. 72- 76 |

- Ф. Я. Сапрыкин *et al.*: 微量元素の移動・濃集過程における天然有機物の役割 (表 8, 参 5) p. 77-89
- Ф. Л. Думлер *et al.*: 鉱床生成節・鉱床生成帯範囲でのメタロジェニー予測への地球化学的累帯構造の利用 (図 4, 参 12) p. 89-98
- А. Г. Рублев: 鉱床成因問題解決への同位体法の適用 (図 2, 表 4, 参 9) p. 98-105
- Г. И. Климов *et al.*: 岩石地球化学と水理地球化学の資料による極東地方南部古生界上部系の銅鉱床生成の展望 (表 1, 参 6) p. 106-110
- Д. В. Рундквист: 鉱石フォーメーション系列中での造鉱元素の分布規則性 (表 1) p. 111-116
- И. К. Зайцев: ソ連の水理地球化学の特色と幾つかの研究課題 (参 17) p. 117-126
- С. В. Егоров: 卓状地の水理地球化学的特徴とテクトニクスとの関係 (参 14) p. 126-132
- Е. Е. Белякова *et al.*: 褶曲区と卓状地の水理地質構造体の表成変質・後続成変質帯の水理地球化学的特徴 (図 3, 表 4) p. 132-148
- М. С. Гуревич *et al.*: 堆積層中での自由硫化水素の生成と分布 (参 16) p. 148-156
- Л. Е. Крамаренко: 地下水の微生物とその地球化学的意義 (表 3, 参 25) p. 156-165
- Е. А. Басков *et al.*: 太平洋区の熱水を例とした熱水の金属元素含有性と現世鉱化作用 (図 2, 表 2, 参 19) p. 165-174
- А. И. Жамойда: 結語 p. 175-176
- 4) Г. И. Арсанова (1974): 「Редкие щелочи в термальных водах вулканических областей (火山区熱水中の稀有アルカリ元素)」, Наука出版所シベリア支所, ノボシビルスク, 110p., 図 19, 表 9, 参 113, 22×15 cm (露文), UDC: 551.23 : 546.31 + 551.491.8

目次

1. カムチャツカ半島の熱水中の稀有アルカリ元素
 - 1.1 カムチャツカ半島の減圧帯の地質環境, 深成熱水の化学組成と稀有アルカリ元素
 - 1.1.1 パウジュツキー温泉群
 - 1.1.2 オゼルノヴォ温泉群
 - 1.1.3 千島温泉群
 - 1.1.4 キレウン温泉群
 - 1.1.5 ドヴフフルト=チュヌイ温泉群
 - 1.1.6 バンヌイ温泉群
 - 1.1.7 パラトウン温泉群
 - 1.1.8 マルカ温泉群
 - 1.1.9 プシチャ温泉群
 - 1.1.10 ナチカ温泉群
 - 1.1.11 ナルィチェフ地熱区
 - 1.1.12 ウゾン=セミャチノ地熱区
 - 1.1.13 トウムロク山脈温泉群
 - 1.2 深成熱水湧出帯熱水中の稀有アルカリ元素地球化学
 - 1.2.1 1,000m以浅における岩石と熱水の接触条件下での稀有アルカリ元素の挙動
 - 1.2.2 天然水溶液とそのガス相との間のアルカリ元素配分について
 - 1.2.3 泥釜水溶液中の稀有アルカリ元素
 - 1.2.4 温度・pH 値・含有成分と稀有アルカリ元素含有率との相関関係
 - 1.2.5 塩素含有率と稀有アルカリ元素含有率との相関性および岩石からのアルカリ元素の溶脱
 - 1.2.6 熱水中におけるアルカリ元素の活性
 - 1.2.7 深成熱水湧出帯中の稀有アルカリ元素の地球化学史
 - 1.3 深部諸作用による稀有アルカリ元素の挙動の地球化学的規則性と深部熱水生成過程の諸特徴

- 1.3.1 熱水の群別
- 1.3.2 1 火山帯内における熱水中の稀有アルカリ元素分布の一般地質学的規則性
- 1.3.3 深部熱水生成過程の諸特徴
2. 火山帯の熱水の稀有アルカリ元素の起源と熱水の成因
 - 2.1 自然界における稀有アルカリ元素の濃集と分散の過程および各種の水のその含有率
 - 2.1.1 稀有アルカリ元素の地球化学的濃集・分散過程
 - 2.1.2 活火山熱水の稀有アルカリ元素の地球化学的諸特徴
 - 2.1.3 岩石風化時における稀有アルカリ元素の挙動と河川水・海水中のその含有率
 - 2.1.4 鉱水と塩水中の稀有アルカリ元素
 - 2.1.5 熱水中およびその他天然生成体中の稀有アルカリ元素分布特性の比較
 - 2.2 火山帯の稀有アルカリ元素と熱水の成因
 - 2.2.1 熱水の稀有アルカリ元素の起源
 - 2.2.2 第 1 群の水の起源
 - 2.2.3 第 2 群の水の起源
 - 2.2.4 第 3 群の水の起源
 - 2.2.5 火山帯の熱水の生成図式と深部進化図式

主な結論

5) 先カンブリア系地質・地質年代学研究所編 (1974): 「Геология и магматизм области сочленения Беломорид и Карелид (白海山地とカレリア山地の接合地域の地質とマグマ作用)」, ナウカ出版社レニングラード支所, 183p., 図46, 表29, 参135, 26×17 cm (露文), UDC: 552.3 : 551.24

6) Н. В Шабаров 編 (1975): 「Основные закономерности углеобразования на территории СССР (ソ連の石炭生成作用の主な規則性)」, ネードラ出版社レニングラード支所, 全ソ地質科学研究所報告, 新シリーズ, 第 239 卷, 335p., 図 2, 表 6, 参201, 付図 7 葉, 22×15 cm (露文), UDC: 552.57 (47+57)

目次

第 1 章 デボン紀石炭生成期

一般構造運動環境と古地理環境

卓状地群フォーメーション(エピソード卓状地アクチビゼーション帯北チマン夾炭フォーメーション) 地向斜群フォーメーション 中間型地域の炭層

デボン紀石炭生成作用の一般的規則性

第 2 章 石炭紀石炭生成期

一般構造運動環境と古地理環境

地向斜炭層フォーメーション群 (内帯凹地フォーメーション, 外帯凹地フォーメーション, 前山凹地フォーメーション, 中間群フォーメーション) 卓状地フォーメーション群

石炭紀石炭生成作用と炭層フォーメーション分布の一般的規則性

第 3 章 二疊紀石炭生成期

一般構造運動環境と古地理環境

地向斜炭層フォーメーション群 (内帯凹地フォーメーション, 外帯凹地フォーメーション, 前山凹地フォーメーション, 中間群フォーメーション)

二疊紀石炭生成作用と炭層フォーメーション分布の一般的規則性

第 4 章 中生代前期石炭生成期

一般構造運動環境と古地理環境

地向斜炭層フォーメーション群 (内帯凹地フォーメーション, 外帯凹地フォーメーション, 前山凹地フォーメーション, 中間群フォーメーション) 卓状地炭層フォーメーション

中生代前期石炭生成作用と炭層フォーメーション分布の一般的規則性

第5章 中生代後期石炭生成期

一般構造運動環境と古地理環境

地向斜炭層フォーメーション群 (内帯凹地フォーメーション, 外帯凹地フォーメーション, 前山凹地フォーメーション, 中間群フォーメーション) 卓状地炭層フォーメーション

中生代後期石炭生成作用と炭層フォーメーション分布の一般的規則性

第6章 新生代石炭生成期

一般構造運動環境と古地理環境

地向斜炭層フォーメーション群 (内帯凹地フォーメーション, 前山凹地フォーメーション) 卓状地炭層フォーメーション群 (新时期卓状地, 古期卓状地)

新生代石炭生成作用と炭層フォーメーション分布の一般的規則性

第7章 ソ連領内の主な夾炭層分布規則性

7) **A. C. Лапухов (1975)**: 「Зональность колчеданно-полиметаллических месторождений (多金属-硫化鉄鋳鋳床の累帯性)」、ナウカ出版所シベリア支所, ノボシビルスク, ソ連科学アカデミーシベリア支部地質・地球物理研究所報告, 第247集, 264p., 図120, 表20, 参414, 27×18 cm (露文), UDC: 553.26: 553.435/44+550(571.17+574+47)

目次

第1部 多金属-硫化鉄鋳鋳床の累帯性の問題とその研究法について

第1章 多金属-硫化鉄鋳鋳床の累帯性に関する概念の発展

鋳床の「累帯性」の定義について

多金属-硫化鉄鋳鋳床の累帯性研究史

第2章 多金属-硫化鉄鋳鋳床の累帯性の定量的解析法

鋳筒の空間的分化作用の解析法

各種タイプの累帯性の変種について

鋳液移動路の解析

第2部 多金属-硫化鉄鋳鋳床の鋳体内の深成累帯性出現形態

第3章 サライル山脈の多金属-硫化鉄鋳鋳床の累帯性

サライル鋳床田硫化物-重晶石鋳床群の鋳体内の累帯性

カメヌシャ鋳床田含銅硫化鉄鋳型鋳床の累帯性

ウスカダ銅-亜鉛-硫化鉄鋳鋳床の累帯性

ウルスコエ鋳床田多金属-硫化鉄鋳型鋳床の累帯性出現形態

サライル山脈多金属-硫化鉄鋳鋳床中の富鋳体の空間的分化作用の特徴

サライル山脈多金属-硫化鉄鋳鋳床の垂直鋳化累帯性の周期的性質について

第4章 ルードヌイ=アルタイ地方後生多金属-硫化鉄鋳鋳床の累帯性

ズィリャノフカ鋳床初成鋳化累帯現象の特徴

チシンスコエ多金属-硫化鉄鋳鋳床の累帯性

第5章 ウラル地方の2・3の硫化鉄鋳鋳床の鋳体累帯性

ガイ鋳床田の初成鋳化累帯

デクチャル含銅硫化鉄鋳鋳床の鋳体内の累帯性

第6章 火山源-堆積型多金属-硫化鉄鋳鋳床の鋳石累帯現象の特徴

第3部 多金属-硫化鉄鋳鋳床の鋳化累帯とその起源

第7章 多金属-硫化鉄鋳鋳床の鋳化累帯現象の一般的な規則性

多金属-硫化鉄鋳鋳床の鋳化累帯性の一般傾向

多金属-硫化鉄鋳鋳床の累帯性の周期的性質について

第8章 多金属-硫化鉄鋳鋳床の多相累帯形成の物理的および物理化学的原因について

熱水交代過程の熱力学的発達条件

流体力学系における熱水溶液の沸騰過程と選択脱ガス作用の役割について
分散および滲過沈殿-クロマトグラフィック過程での周期的沈殿作用の特徴
平行相関反応進行時における鉱石成分の累帯的沈殿の力学的機構

勸告

むすび

8) ソ連科学アカデミー実験鉱物学研究所 (1975) : 「Очерки физико-химической петрологии (物理化学岩石学論集)」, 第5集, ナウカ出版社, モスクワ, 27×18 cm (露文)

目次

Н. И. Безмен ほか: 核磁気共鳴法による六方晶系磁硫鉄鉱中の空位規制の研究 (図3, 参8) p. 5- 8

С. Г. Данилова ほか: 高温・高圧下におけるマグマ メルト中の水の分散の研究法の開発と曹長石-含水メルト中の水の分散係数の決定 (図3, 参10) p. 9- 15

Г. П. Зарайский ほか: 複交代スカルン生成体の実験的研究. 第2部: Ca・Mgの酸化物・炭酸塩とアルミナ珪酸塩媒体との相互反応 (図19, 表4, 参8) p. 16- 50

В. Н. Зырянов ほか: 霞石-アルカリ長石系での相状態の実験的研究 (図19, 表13, 参41) p. 51- 77

И. П. Иванов: 変成作用時と交代作用時における鉱物平衡をモデル化した大活性成分を有する開放系の実験的研究 (図14, 表3, 参91) p. 78-105

И. П. Иванов ほか: 固相・水蒸気に対する高圧熱水実験装置 (図2, 参16) p. 106-110

Л. Д. Куршакова: 温度・酸素圧を制御した天然斧石の実験的研究 (図2, 表3, 参11) p. 111-120

А. А. Маракушев: 深部鉱化過程における元素共生関係形成の熱力学的基礎 (図33, 表8, 参46) p. 121-194

И. Я. Некрасов ほか: チーライトの合成条件と PbS-SnS-HCl 系 (300-400°C) の相関係 (図9, 表9, 参14) p. 195-211

Р. А. Некрасов ほか: La₂O₃-SiO₂-B₂O₃-H₂O 系の相平衡に対する H₂O 相対量の影響 (図1, 表3, 参3) p. 212-220

Л. Л. Перчук ほか: 100 ≤ P ≤ 10,000 バールと 100 ≤ T ≤ 1,000°Cでの炭酸ガスの熱力学的性質 (図8, 表11, 参27) p. 221-234

Е. С. Рудницкая ほか: 鉱物類質同像の研究への赤外線吸収スペクトル法適用の可能性 (図12, 参27) p. 235-244

В. И. Сорокин ほか: P = 8,000 kg/cm² と T = 700°C での熱水合成装置. P = 6,000 kg/cm² での葉蠟石の脱水 (図4, 表1, 参7) p. 245-249

В. И. Тихомирова: モリブデン珪素ヘテロポリアシッドの形成に対する錫の影響 (図4, 表3, 参8) p. 250-255

В. М. Шмонов ほか: 高温・高圧下でのガス圧縮率測定法 (図2, 参2) p. 256-257

К. И. Шмулович: CaO-Al₂O₃-SiO₂-CO₂ 系の鉱物平衡ダイアグラム (図3, 表2, 参23) p. 258-266

К. И. Шмулович ほか: グロッシュラー-アンドラダイト系ざくろ石の合成条件と格子恒数 (図1, 表3, 参13) p. 267-275

9) В. В. Бочаров, В. И. Фокин, Л. А. Рейхерт (1974) : 「Экономический анализ деятельности геологических организаций в новых условиях хозяйствования (新経済条件下における地質機関の活動の経済的分析)」, ネードラ出版社 レニングラード支所, 208p., 図7, 表55, 参30, 22×15 cm (露文), UDC: 550.8: [338.984+658.1]

目次

第1章 地質領域での経済活動の内容, 課題, 方法, 解析機関

§ 1. 地質機関での経済活動解析の内容, 課題, 方法, 技術的対応

- § 2. 地質領域での解析研究の組織化
- 第2章 地質学的課題, 地質事業計画, 実施に影響する要素などの分析
 - § 1. 地質学的課題とその分析
 - § 2. 地質調査事業計画の経費的分析
 - § 3. 地質調査事業の物理的な量の分析法
 - § 4. 労働人口活用の分析
 - § 5. 技術装備と基本ファンド利用の分析
 - § 6. 地質調査事業への最新科学・技術導入の経済効果とその分析
- 第3章 地質調査事業の原価分析
 - § 1. 地質調査事業総体と個別の原価分析
 - § 2. 地質学的課題の段階別原価分析
 - § 3. 地質機関における支出項目別原価分析
- 第4章 地質機関の財政活動と財政状態の分析
 - § 1. 財政計画とその実行についての分析
 - § 2. 利潤の形成と活用の経済的分析
 - 利潤の形成と財政実施に影響する要素 利潤活用の分析 経済的刺激のファンドとその有効利用の分析
 - § 3. 地質機関の基本活動別バランスとその分析
 - 財政バランスの全体的特徴 地質機関の基本活動別バランスの内容 本来の流動資本による地質機関保証問題と会計年度内での流動資本変化問題の分析 標準流動資本の状態と活用方向 流動資本回転率の分析 財政投資と地質機関の支払能力の全体的評価

10) А. М. Дымкин 編 (1975): 「Локальный метаморфизм руд (鉍石の局部変成)」: 地質・地球物理研究所報告, 第269号, ノボシビルスク, 160p., 22×15 cm (露文)

目次

- А. М. Дымкин *et al.*: 含水珪酸塩型・スカルン型鉍床磁鉄鉍石の変成の特徴 (図14, 参17) p. 5- 32
- И. К. Калугин: 動力変成鉄鉍の構造・組織の特徴 (図6, 表2, 参22) p. 33- 45
- М. П. Мазуров *et al.*: イルバ後鉍化期貫入体の接触帯における磁鉄鉍石と石灰質スカルンの変成 (図5, 表2, 参14) p. 45- 57
- К. Р. Ковалев: オーゼルノエ硫化鉄鉍-多金属鉍床における鉍石の接触変質 (図8, 表1, 参31) p. 58- 70
- В. Г. Пономарев: アルタイ地方デボン紀火山源鉄鉍石中の磁鉄鉍の性質について (図1, 表4, 参44) p. 70- 85
- А. А. Пермаков: Колшуньово 鉍床産赤鉄鉍の結晶形態 (図22, 参9) p. 86- 92
- А. М. Дымкин *et al.*: テヤ鉍床産磁鉄鉍中の尖晶石とマグネシオフィライト (図14, 表2, 参6) p. 92- 99
- А. А. Пермяков: 磁鉄鉍の食像について (図10, 参6) p. 99-106

11) В. А. Дворкин-Самарский 編 (1971): 「Минералого-геохимические очерки Забайкалья (ザバイカル地方鉍物鉍物-地球化学論集)」, Улан-Уде, 167p., 26×17 cm (露文)

目次

- А. С. Пак *et al.*: カリ資源としてのスィンヌィル アルカリ岩体の偽白榴石 (表4, 参9) p. 3- 7
- Г. В. Андреев *et al.*: プリヤート地方中部の燐灰石鉍床の成因的特徴 (表2, 参9) p. 8- 14
- В. А. Дворкин-Самарский *et al.*: 花崗岩類の黒雲母化作用と交代変質黒雲母化花崗岩のタイプ (図1, 参8) p. 15- 19
- Н. И. Ненашев: 時間・空間におけるマグマ組成の進化の問題とマグマ分化岩山塊の生成持続時間

- (表5, 参15) p. 20- 32
- Г. С. Рипп *et al.* : ザバイカル地方西部にみられる新形式の硫化鉄鉱化作用 (図4, 参4) p. 33- 40
- А. М. Гребенников : ザバイカル地方東部の予想含鉄花崗岩類中の副成鉄物共生関係 (表2) p. 41- 44
- А. Н. Кузнецов : プリヤート地方中部の貫入岩コンプレックス中の燐 (図1, 表1, 参16) p. 45- 50
- В. С. Доржиев *et al.* : 磁性によるザバイカル地方南西部中生代玄武岩類の時代対比について (図2, 参2) p. 51- 55
- К. Б. Булнаев : ザバイカル地方西部浅熱水性螢石鉱床中の側岩粘土化作用について (表1, 参19) p. 56- 62
- И. Г. Потамошнев *et al.* : プリヤート地方の張り石と細工石 p. 63- 66
- Р. С. Замалетдинов *et al.* : ザバイカル地方の飾石に関する新資料 (参7) p. 67- 71
- В. А. Литвиновский : 数種のざくろ石閃長岩の生成時におけるアルカリの滲透速度と対面拡散速度の関係について (図4, 表1, 参12) p. 72- 78
- С. А. Гурулев *et al.* : シャーマン超塩基性岩山塊北縁の交代性累帯構造 (図13, 表8, 参12) p. 79-100
- В. И. Лосицкий *et al.* : トゥルカー川・クイジミート川上流地区の古期層の組成と変成作用の特徴 (図4, 表2, 参2) p. 101-115
- В. Д. Багуев *et al.* : コーンダ河盆地の菱鉄鉱床について (図1, 表1) p. 116-119
- Ю. В. Плотников *et al.* : プリヤート自治共和国クーパー鉱床生成域北部の硫化鉄鉱床の地質, 分布規則性と成因的特徴 (図1, 参4) p. 120-126
- В. И. Кирасирова *et al.* : バイカル湖南東岸浜砂産の iserin (表2, 参5) p. 127-130
- В. И. Кирасирова *et al.* : バイカル湖南東岸浜堆積層産の燐灰石 (表2, 参3) p. 131-133
- Г. С. Рипп : オーゼルスイ多金属-硫化鉄鉱床の脈石鉱物と鉄石鉱物の生成温度について (表1, 参3) p. 134-137
- В. А. Дворкин-Самарский *et al.* : 沿バイカル地方オイムール・ベズィミャンカ両山塊の曹長石化花崗岩の化学組成 (図1, 表2, 参2) p. 138-144
- В. М. Скобло : 堆積作用と火山作用の移動についての数学的特徴づけ (図1, 表4, 参12) p. 145-156
- Т. А. Рокачук : プリヤート地方中部花崗岩類の比較岩石化学的研究への数理統計適用例について (図4, 表4, 参7) p. 157-167
- 12) Э. А. Ланда, Л. С. Егоров (1974) : 「Апатитовые месторождения карбонатитовых комплексов (カーボナタイト コンプレックスの燐灰石鉱床)」, ネードラ出版社, モスクワ, 145p., 図38, 表4, 参161, 22×15 cm (露文), UDC: 553.641: 552.33 (100)

目次

- 第1章 含燐灰石超塩基性アルカリ岩・カーボナタイト生成区
- 第2章 含燐灰石超塩基性アルカリ岩・カーボナタイト山塊群
- 第3章 超塩基性アルカリ岩・カーボナタイト山塊中の燐灰石鉱床
- 第4章 燐灰石鉱床の分布規則性
- 第5章 燐灰石鉱床生成作用の規則性